

とよたち美肌通信

☆10月号☆



Happy Halloween Bⁱⁱ

＜和顔愛語^{わけんあいご}も志^{こころ}して＞ 川信幸

早いもので、「とよ・たち美肌通信」も第3号を刊行することが出来ました。**感謝**です。!!

皆様は「和顔愛語」という言葉を御存知でしょうか？ 意味は 柔和な笑顔と優しい言葉で相手に接する、という布施(ふせ)（親切）の精神からくる仏教の教えの一つです。当クリニックにおいては、優しい言葉と柔和な笑顔で患者様に接することで、苦しみやつらさを少しでも和らげて差し上げる様努める!!、というスローガンが「和顔愛語の実践」であります。

私が初めて この言葉に出会ったのは 今から 3年前、大学から 出向を命じられた 富山県のある病院勤務時に 溯ります。その日は 朝から体調がすくなく、ホー...とした 気持ちのまま 外来をして ありました。その折、ある夜、今の男性が 席を立たれる際、私にこの言葉を下さったのです。それが 和顔愛語でした。頂いた時は「ありがとうございました」と 白衣のポケットに しまい込み、外来終了後に Web で 調べたところ、その意味を

知ることが出来ました。私はその時ハタと思っただけです。なぜあの患者様はお帰りになる際この言葉を下さったのか？ よほど私がかしめ、^め面^で仕事をしていたのか？

将又、他の理由があったのか？ その後その患者様にお会いする事はありませんでした。いかなる理由にせよ、私の大いなる反省点(教訓)となった出来事であると同時に「一生の宝を賜った事件」でもありました。現に開業医になった今、それは日々の目標であると同時に当クリニックの ^(テーマ) theme and motto とさせて頂いております。又この賜った言葉を形にしておきたい!! という願望から、

「和顔愛語」を書家・^{かきぬま さいりゅう}柿沼翠流先生
(栃木県塩谷町御出身)

に懇願し書いて頂きました。当クリニック内待合室にかかっていますので皆様どうぞ御覧下さいます様お願い申し上げます。

ここで「とよ・たち美肌通信」を読んで頂いております皆様にお願いがございします。開院し約2ヶ月が経つ当クリニックでは広く患者様のお声を頂きたく存じます。院内にアンケート用紙を

置いています。アンケートには要望やお気付きの点
おしかり等何なりと書いて下さる様お願い
申し上げます。皆様のお声か私・職員
及びクリニックの成長に繋かると信じてお
ります。

尚、集計結果に関しては、女子トイレ前に
ボードを作成し皆様にご覧になっ
て頂く予定でございます。

今後共“豊郷たちかわ皮膚科クリニック”を
未長く見続けて下さいます様宜しくお願
い致します。

“おしらせ” <突然ですがお友達御紹介コーナー>
豊郷たちかわ皮膚科では美容部門にも力を入れてあり
ます。そこで審美歯科治療に卓越した技術を持つ
“ココ歯科クリニック” 院長加藤淳先生に
ご登場頂き、皆様に先生の人となりを知っ
て頂きたいと思ひます。

では 加藤先生 ほりきって どうぞ〜!